



2019年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年1月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東
 コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 年真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	132,012	3.8	12,552	12.6	12,942	7.9	9,273	13.9	9,119	14.3	8,471	△19.6
2018年3月期第3四半期	127,130	10.9	11,151	28.2	11,993	35.4	8,140	34.6	7,978	44.2	10,539	42.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	181.71	—
2018年3月期第3四半期	158.96	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	
2019年3月期第3四半期	169,653	124,996	123,385	72.7	2,458.47
2018年3月期	170,302	118,900	117,311	68.9	2,337.43

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2019年3月期	—	23.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	5.7	17,000	21.0	17,800	26.4	12,800	29.0	12,600	30.0	251.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	52,644,030株	2018年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,455,975株	2018年3月期	2,455,841株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	50,188,110株	2018年3月期3Q	50,188,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、インドネシアやインドの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は132,012百万円（前年同期比3.8%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり12,552百万円（前年同期比12.6%増）となりました。税引前四半期利益は12,942百万円（前年同期比7.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9,119百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(二輪車用クラッチ)

インドネシアやインドの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は63,079百万円（前年同期比3.1%増）となりました。営業利益は、インドネシアの増収効果もあり8,727百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

(四輪車用クラッチ)

米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は68,932百万円（前年同期比4.6%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり3,825百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

(日本)

二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は18,875百万円（前年同期比4.7%増）となりました。営業利益は、原価低減等の効果もあり2,310百万円（前年同期比36.5%増）となりました。

(米国)

フォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は47,190百万円（前年同期比8.3%増）となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり2,263百万円（前年同期比84.3%増）となりました。

(アジア)

インドネシアやインドの二輪車用クラッチの販売が増加したものの、中国の長安フォード向けの四輪車用クラッチの販売が減少したこともあり、売上収益は61,438百万円（前年同期比0.4%減）となりました。営業利益は、インドネシアの増収効果もあり7,453百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

(その他)

メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は4,508百万円（前年同期比16.1%増）となりました。営業利益は、メキシコの収益性改善等もあり71百万円（前年同期は342百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は79,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,583百万円増加しました。これは主に営業債権及びその他の債権が3,389百万円減少したものの、現金及び現金同等物が3,905百万円、棚卸資産が2,411百万円増加したことによるものであります。

(非流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は90,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,232百万円減少しました。これは主にその他の金融資産が1,693百万円、有形固定資産が1,258百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は34,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,805百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が3,319百万円、借入金が3,065百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は10,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円増加しました。これは主に借入金341百万円減少したものの、繰延税金負債が379百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は124,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,096百万円増加しました。これは主にその他の資本の構成要素が823百万円減少したものの、利益剰余金が6,898百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は29,135百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16,818百万円となりました。これは主に税引前四半期利益12,942百万円、減価償却費及び償却費9,272百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,650百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8,471百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6,224百万円となりました。これは主に短期借入金の純増減額3,802百万円、配当金の支払額2,192百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年10月31日の「2019年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	25,230	29,135
営業債権及びその他の債権	28,855	25,466
その他の金融資産	2,339	1,819
棚卸資産	18,428	20,839
その他の流動資産	2,038	2,213
流動資産合計	76,892	79,475
非流動資産		
有形固定資産	72,942	71,684
のれん及び無形資産	4,396	4,050
持分法で会計処理されている投資	117	92
その他の金融資産	12,561	10,867
繰延税金資産	2,734	2,808
その他の非流動資産	657	673
非流動資産合計	93,410	90,178
資産合計	170,302	169,653

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,044	12,725
借入金	16,179	13,114
その他の金融負債	128	141
未払法人所得税	2,784	2,754
その他の流動負債	6,006	5,602
流動負債合計	41,143	34,337
非流動負債		
借入金	365	24
その他の金融負債	448	536
退職給付に係る負債	2,027	1,973
引当金	33	29
繰延税金負債	7,086	7,465
その他の非流動負債	297	290
非流動負債合計	10,258	10,319
負債合計	51,402	44,657
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	112,828	119,726
自己株式	△3,409	△3,409
その他の資本の構成要素	3,716	2,892
親会社の所有者に帰属する持分合計	117,311	123,385
非支配持分	1,589	1,611
資本合計	118,900	124,996
負債及び資本合計	170,302	169,653

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上収益	127,130	132,012
売上原価	△105,294	△108,711
売上総利益	21,836	23,301
販売費及び一般管理費	△11,029	△11,396
その他の収益	592	821
その他の費用	△247	△173
営業利益	11,151	12,552
金融収益	1,015	674
金融費用	△172	△265
持分法による投資損益	△1	△17
税引前四半期利益	11,993	12,942
法人所得税費用	△3,853	△3,668
四半期利益	8,140	9,273
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,978	9,119
非支配持分	162	154
四半期利益	8,140	9,273
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	158.96	181.71
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期利益	8,140	9,273
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	0	△8
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動	—	△1,058
計	0	△1,067
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	1,053	—
在外営業活動体の換算差額	1,359	268
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△13	△3
計	2,399	264
その他の包括利益合計	2,399	△802
四半期包括利益	10,539	8,471
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	10,359	8,320
非支配持分	180	151
四半期包括利益	10,539	8,471

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素				
	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	売却可能金融資産の公正価値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年4月1日時点の残高	4,175	104,908	△3,409	1,792	4,156
会計方針の変更	—	—	—	—	—
修正再表示後の残高	—	—	—	—	—
四半期利益	—	7,978	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	1,335	1,045
四半期包括利益合計	—	7,978	—	1,335	1,045
自己株式の取得	—	—	—	—	—
配当金	—	△2,057	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	0	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△2,057	—	—	—
2017年12月31日時点の残高	4,175	110,829	△3,409	3,128	5,201

親会社の所有者に帰属する持分

その他の資本の構成要素

	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動	確定給付制度の再測定	合計			
2017年4月1日時点の残高	—	—	5,949	111,624	1,530	113,155
会計方針の変更	—	—	—	—	—	—
修正再表示後の残高	—	—	—	—	—	—
四半期利益	—	—	—	7,978	162	8,140
その他の包括利益	—	0	2,380	2,380	18	2,399
四半期包括利益合計	—	0	2,380	10,359	180	10,539
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△2,057	△131	△2,189
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	△0	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△0	△0	△2,057	△131	△2,189
2017年12月31日時点の残高	—	—	8,329	119,925	1,579	121,505

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の 換算差額	売却可能金融資産の 公正価値の変動
				百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	4,175	112,828	△3,409	△1,156	4,872
会計方針の変更	—	△37	—	—	△4,872
修正再表示後の残高	4,175	112,791	△3,409	△1,156	—
四半期利益	—	9,119	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	255	—
四半期包括利益合計	—	9,119	—	255	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
配当金	—	△2,208	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 からの振替	—	24	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△2,184	△0	—	—
2018年12月31日時点の残高	4,175	119,726	△3,409	△901	—

親会社の所有者に帰属する持分

その他の資本の構成要素

	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産の公正 価値の変動	確定給付制 度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計				
						百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
						百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	—	—	3,716	117,311	1,589	118,900				
会計方針の変更	4,872	—	—	△37	—	△37				
修正再表示後の残高	4,872	—	3,716	117,274	1,589	118,863				
四半期利益	—	—	—	9,119	154	9,273				
その他の包括利益	△1,045	△8	△799	△799	△2	△802				
四半期包括利益合計	△1,045	△8	△799	8,320	151	8,471				
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0				
配当金	—	—	—	△2,208	△129	△2,337				
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—				
その他の資本の構成要素 からの振替	△32	8	△24	—	—	—				
所有者との取引額合計	△32	8	△24	△2,208	△129	△2,338				
2018年12月31日時点の残高	3,793	—	2,892	123,385	1,611	124,996				

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	11,993	12,942
減価償却費及び償却費	9,680	9,272
金融収益及び金融費用	△458	△465
持分法による投資損益(△は益)	1	17
固定資産除売却損益(△は益)	36	△61
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,768	△2,868
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△194	3,079
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	1,003	△2,197
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	212	111
その他	△251	△62
小計	20,255	19,767
利息及び配当金の受取額	597	602
利息の支払額	△198	△124
法人所得税の支払額	△2,881	△3,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,773	16,818
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,271	△1,231
定期預金の払戻による収入	2,734	1,682
有形固定資産の取得による支出	△8,954	△8,471
有形固定資産の売却による収入	227	566
無形資産の取得による支出	△933	△910
無形資産の売却による収入	4	0
新規連結子会社の取得による支出	△791	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,828
貸付けによる支出	△75	△150
貸付金の回収による収入	150	142
投資の取得による支出	△32	△44
投資の売却による収入	—	44
その他	△87	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,029	△6,650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,382	△3,802
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△2,039	△2,192
非支配株主への配当金の支払額	△131	△129
その他	△73	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,627	△6,224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,116	3,943
現金及び現金同等物の期首残高	23,474	25,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	452	△38
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,043	29,135

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。IFRS第9号「金融商品」による当社グループの連結財務諸表への影響は軽微であります。なお、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用により、当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において、売上収益が350百万円減少し、法人所得税費用が104百万円減少しております。

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

	報告セグメント				
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	61,209	65,921	127,130	—	127,130
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	61,209	65,921	127,130	—	127,130
減価償却費及び償却費	△3,499	△6,180	△9,680	—	△9,680
その他の損益	△49,761	△56,537	△106,298	—	△106,298
営業利益	7,948	3,203	11,151	—	11,151
金融収益					1,015
金融費用					△172
持分法による投資損益					△1
税引前四半期利益					11,993

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	報告セグメント				
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	63,079	68,932	132,012	—	132,012
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	63,079	68,932	132,012	—	132,012
減価償却費及び償却費	△3,432	△5,839	△9,272	—	△9,272
その他の損益	△50,920	△59,267	△110,188	—	△110,188
営業利益	8,727	3,825	12,552	—	12,552
金融収益					674
金融費用					△265
持分法による投資損益					△17
税引前四半期利益					12,942